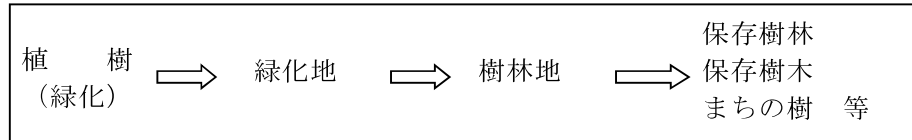
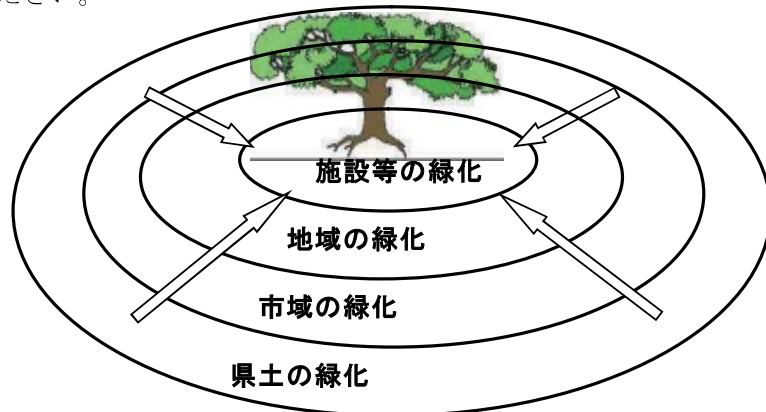

< 計画・設計編 >

- ・ 次に示す市域緑化の基本的な考え方に基づいて対象施設の緑化計画を立案してください。



① 都市の骨格を形成する緑化

- ・ 対象施設を単体としてではなく、都市を構成する一景観要素としてとらえ、その都市及び地域の中でその施設が果たす役割から、都市の中での緑の意義や位置付け（核、拠点、軸、ネットワーク）を明確にし、それを実現するための適切な緑化を行ってください。
- ・ 対象とする施設の立地条件（県土・市域・地域の特性等）を把握し、施設の周辺、地域、市域全体そして県土全体に広がるような緑化を行ってください。



② 次代に引き継ぐことのできる持続性の高い緑化

- ・ 樹木の特性に配慮し、樹木の成長過程や将来の姿を想像した長期的な視点に立つとともに、植栽後の維持管理をもあらかじめ考慮した緑化を行ってください。

③ 対象とする施設や周辺地域のイメージアップにつながる緑化

- ・ 単に施設の修景としての緑化ではなく、施設やその施設が立地している地域のイメージアップにつながるような個性的で付加価値の高い緑化を行ってください。

④ 地域に配慮し、地域らしさを創出する緑化

- ・ III緑の現況と緑化方針（5ページ）のゾーン別地域緑化方針を踏まえ、地域ごとの緑化の課題、特性、風土に則し、周辺の緑の景観との調和を図り、地域の個性を創出する緑化を行ってください。

⑤ 自然的環境を回復する緑化

- ・ 既存の樹木、樹林等の生態系に配慮した緑化を行ってください。
- ・ 野鳥や昆虫などの小動物の生息環境を確保するため、まとまりのある多様な緑を確保し、それらのネットワークを考慮した緑化を行ってください。

⑥ きめ細かな緑化

- ・ 稠密な市街地など植栽地が十分に確保できない場合においても、シンボルとなり得る樹木の植栽や生垣、壁面緑化等のきめ細かに配慮した緑化を行ってください。

⑦ 市民が安全に暮らすことのできる防災機能を持った緑化

- ・ 市民が安全に暮らすことができるよう防災機能を持たせた緑化を行ってください。

⑧ パートナーシップによる緑化

- ・ 「川崎市緑の基本計画」で提案している市民参加や緑の普及活動の仕組みづくりを行えるような緑化を行ってください。
- ・ コミュニティを育てる緑や子供達がふれあうことができる緑など、施設ごとに市民が様々な緑のイベントを行えるような緑化を行ってください。

1 公園の緑化

1) 緑化の意義

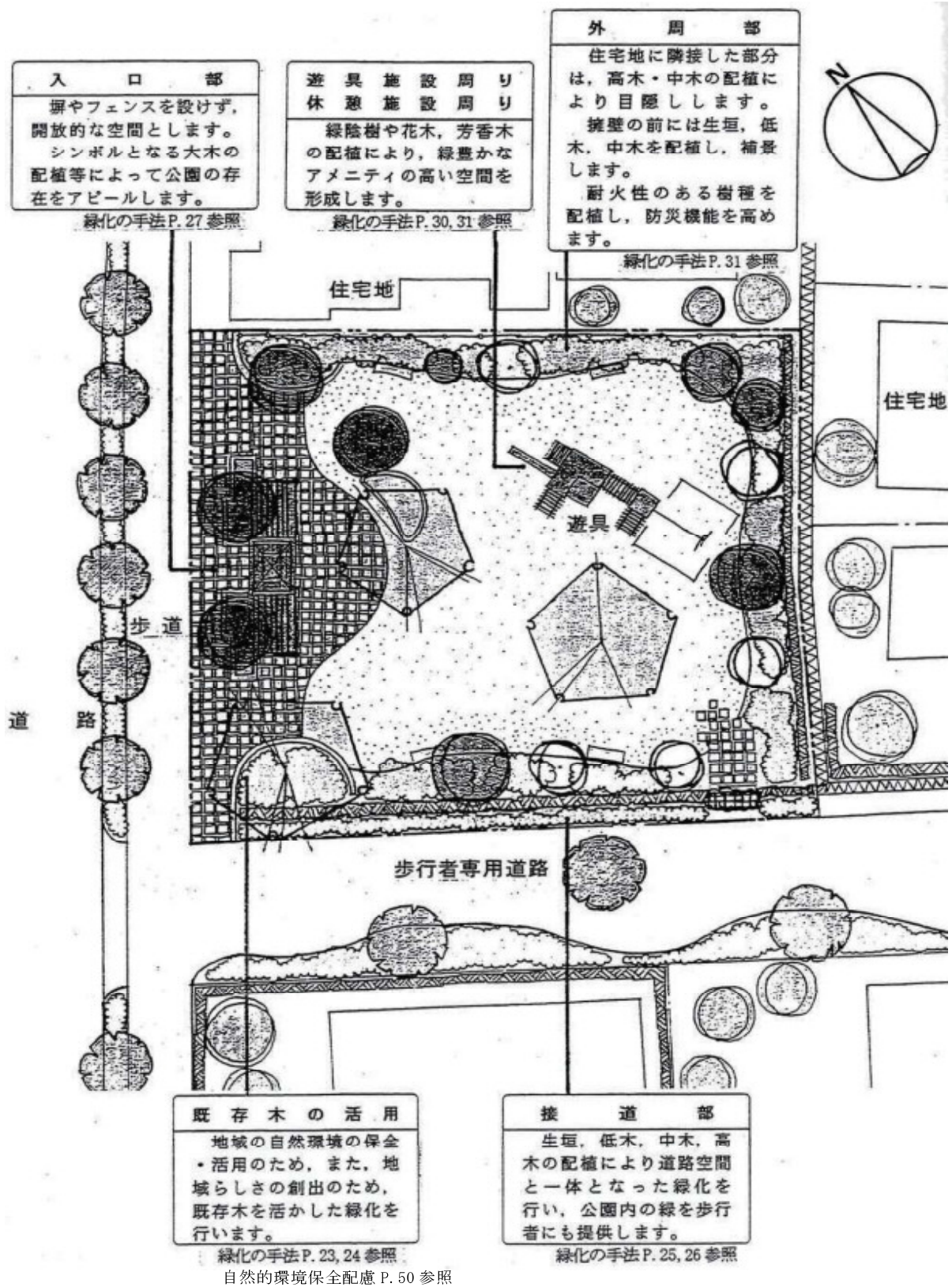
公園は、市街地の中で身近な緑とふれあうことができる場や人々がやすらぎ、憩い、集える場を形成するとともに、周辺の住民相互のコミュニティを育て、地域に対する愛着心、郷土意識を根付かせることができます。また、公園の緑化により、うるおいがありかつ安全な生活環境を形成することができ、ひいては地域の緑の核として、環境面、防災面、景観面等、多角的な面で地域全体の生活環境を向上させます。

2) 基本的な考え方

- ・ 緑の核として、住民が季節を感じたり、身近な自然にふれあえる場を形成します。
- ・ 美観を高める修景的な緑化、ヒーリング*（癒し）効果のある緑化等により、リラクゼーションややすらぎを得ることができるアメニティの高い空間を形成します。
- ・ 花見、記念植樹等の集い、イベントが行えるような緑化を行い、コミュニティを育みます。また、管理運営協議会等の活動を通して、地域内で協力して公園を育てます。
- ・ 地域らしさを創出した緑化を行い、住民の地域への愛着、郷土意識を育て、定住意識を高めます。
- ・ 災害時における避難地として利用できるよう、延焼防止効果のある緑化を行い、住民が安心して暮らせる生活環境を形成します。
- ・ 周辺環境との関連を考慮し、計画する公園の目的、機能、空間構成、土地利用、導入施設等を明確にした上で、それらに細かく配慮した緑化を行います。
- ・ 道路への飛び出し事故等を防止するなど、利用者の安全性を考慮した緑化を行います。
- ・ 地域の良好な景観形成を先導するよう、周辺環境との一体性、連続性を持たせた緑化を行います。

*ヒーリング
肉体的にも精神的にも安らぎを感じ、ストレスを緩和すること。

■ 公園の緑化モデルプラン（緑地面積率30%）



2 学校の緑化

1) 緑化の意義

学校は、子どもたちが心身の形成期を過ごす場であり、知識を得るとともに、豊かな心や、健康な身体を育む場所です。量、質ともに高い緑化により、美しくアメニティの高い教育環境を形成するとともに、自然とのふれあいや体験を通じて自然の生態系や自然と人とのかかわりを学び、自然を大切にすることを育てる環境教育の場を形成します。緑とのふれあいは、子どもたちの思い出となるとともに、学校に対する愛着心、郷土愛を育てます。

学校は比較的広い面積を有し各学区ごとに配置されており、多様性のある緑化によって地域住民に親しまれ、コミュニティの中心的存在になります。更に、環境面、景観面、防災面等の多角的な面で地域の生活環境を向上し、地域の緑化推進の先導的役割を果たします。

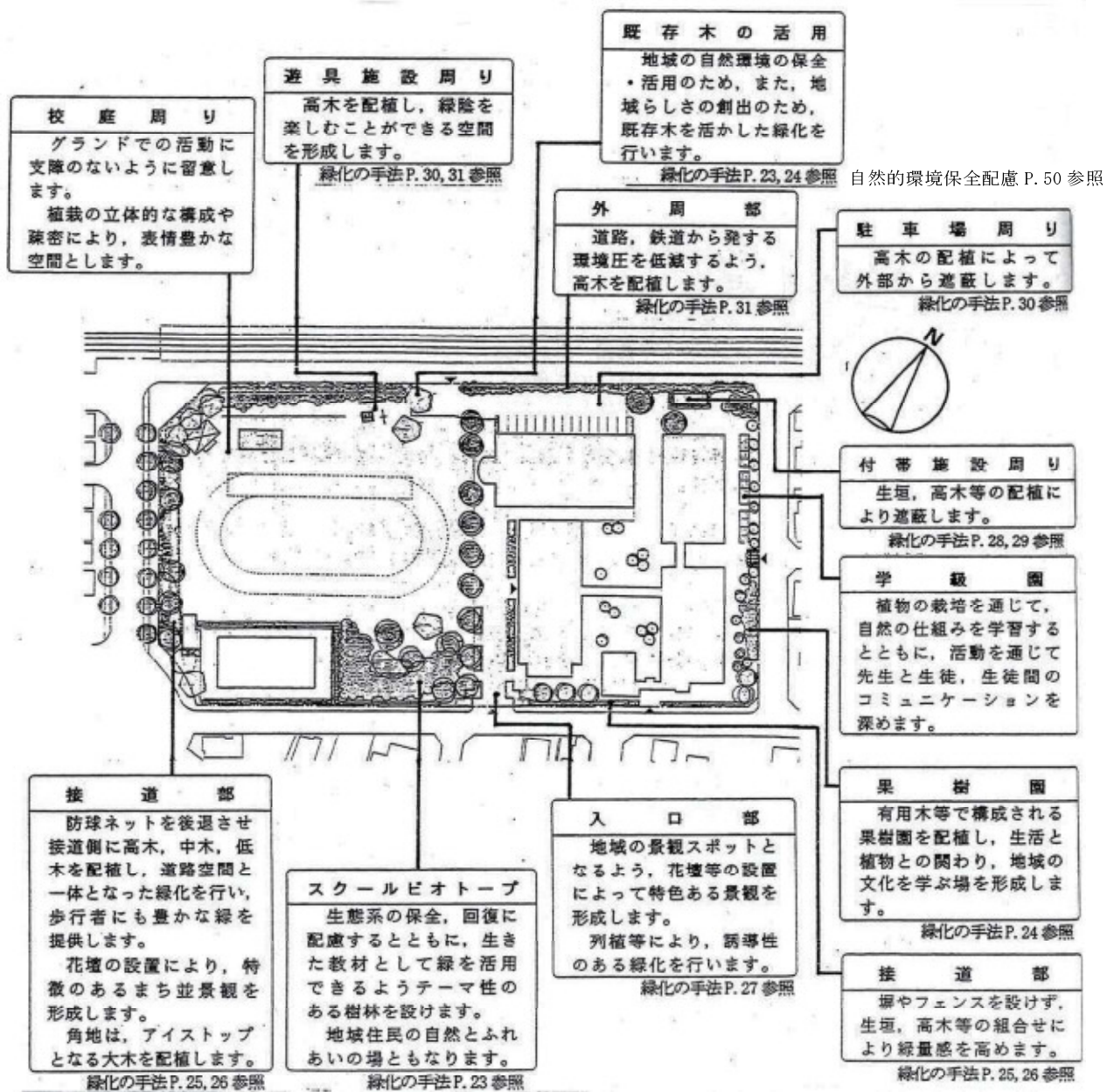
2) 基本的な考え方

- ・ 学校の年中行事を彩るような四季の変化にとんだ緑化やシンボルとなる大木等の導入により、子どもたちの思い出に残るような緑化を行います。
- ・ 教科書にでてくる樹種や有用木を積極的に取り入れたり、植物を実際に育てる学級園、学級花壇、ビオトープ*の設置などにより、緑の四季の美しさや自然の生命力、しくみなどを学べる生きた素材として活かすような緑化を行います。
- ・ 地域性や地域の生活文化を子どもたちが学ぶことができる環境を形成します。
- ・ 緑の核として、市街地に貴重な緑を提供するよう、自然性を感じることができるまとまりのある緑を積極的に創出します。
- ・ 敷地内の緑化にとどまらず、周辺との一体性、連続性を持たせた地域ににじみでるような緑化を行い、地域住民にうるおいとやすらぎを与え、地域の景観を向上させます。
- ・ コミュニティの中心的存在として、地域住民がより親しみを持てるよう開放的な緑化を行います。
- ・ 防塵・防風等の環境圧の低減を図る緑化を行い、教育環境の向上を図ります。
- ・ 災害時の避難地として学校が利用できるよう、外周部には延焼防止の効果を持たせた緑化を行い、安心して暮らせるよう生活環境づくりを行います。

*ビオトープ
独B i o t o p
植物・昆虫類・両生類・爬虫類・鳥類・哺乳類等の野生の動植物が生息する空間を類型化した概念のことをいう。

- ・ 校庭部には、グラウンド使用の支障にならないよう、平面的にも立面的にも変化のある植栽によって、表情豊かな空間を創出します。
- ・ 運動場等の防球ネット沿いの植栽は、運動の障害や、防球ネットの基礎による植栽の生育障害を起こさないよう留意するとともに、防球ネットと道路との間に植樹帯を設け、道路空間との一体的な緑化を行ってください。

■ 学校の緑化モデルプラン（緑地面積率20%）



3 公共公益施設の
緑化

1) 緑化の意義

公共公益施設は、市民の安全で快適で心豊かな生活の基盤を形成する施設であり、多くの市民が利用します。多様性のある緑化により、施設そのものの役割や機能を高めるとともに、施設や地域の顔をつくり、シンボル性を高め、市民が親しみやすい施設とすることができま

す。
また、公共公益施設は計画的に配置されることから、緑の核として市街地に貴重な緑を提供し、景観面、環境面、防災面等、多角的な面で地域の生活環境を向上することができ、地域の緑化の先導的な役割を果たします。

2) 基本的な考え方

- ・ 緑の核として、自然の回復や花の名所づくり、市民の花、市民の木、区の花、区の木を使った緑化など量、質ともに高い緑化を積極的にを行い、施設や本市の顔づくり、シンボルづくりを行い、地域や市のイメージアップを図ります。
- ・ 地域らしさを感じることができる緑化を行います。
- ・ 市民のだれもが利用できる施設として、開放性があり、市民に親しまれる緑化を行います。
- ・ 屋上緑化、壁面緑化等による積極的な緑の創出に取り組み、地域の緑化を先導します。
- ・ 周辺環境との連続性を持たせた緑化を目標に、地域緑化を触発するような魅力ある緑化を行い、地域住民にうるおいとやすらぎを与え、地域景観を向上させます。
- ・ 病院、保健所、老人ホーム等の医療・福祉施設においては、特に、環境圧の低減に配慮するとともに、利用者によるうるおいとやすらぎを与え、安定した精神状態を保持させるヒーリング*¹（癒し）効果の高い緑化を行い、心身ともに健康を形成する緑化を行います。ホーティカルチュアルセラピー*²（園芸療法）などリハビリテーションや趣味等に活かせる緑化を行い、利用者の回復や社会生活への復帰を支援します。また、市民が親しみをもてる開放的な緑化を行い、ノーマライゼーション*³を実現する環境づくりを行います。

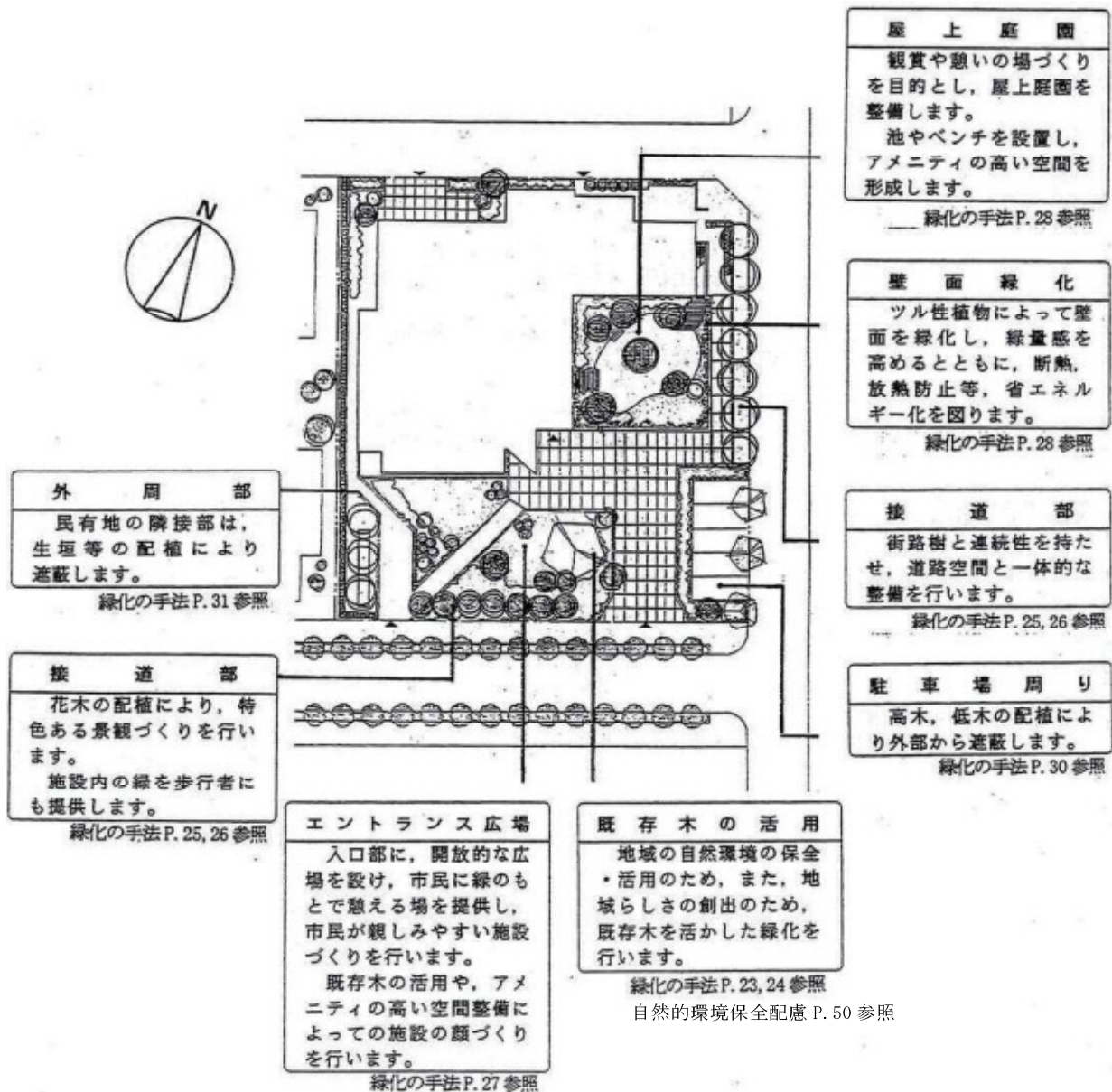
*¹ヒーリング
p. 9 参照

*²ホーティカルチュアルセラピー
園芸療法、植物（庭グリーンハウスを含む）あるいは植物に関する諸々の活動を通して、身体、心、精神の向上を促し、かつ鍛える療法をいう。
障害や障害を持った状態を改善し、障害者環境に適応し、社会復帰を促すための治療やリハビリテーションの有効な一手段として使われる。

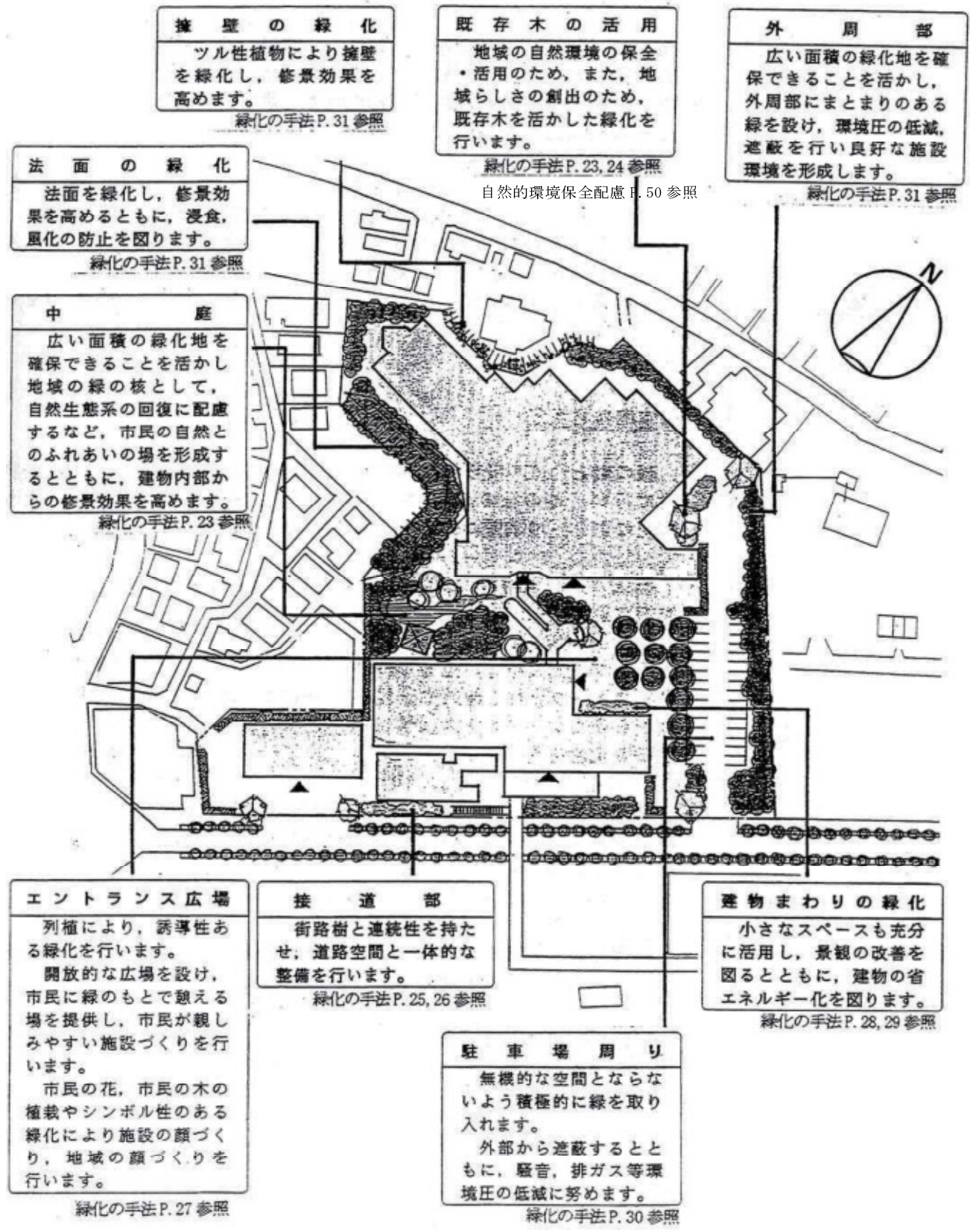
*³ノーマライゼーション
normalization、高齢者や障害者、貧困者のような社会的弱者も普通（normal）の人々と同じようにともに暮らし、ともに生きる権利があり、その社会こそノーマルであるという概念をいう。

- ・ 公共公益施設が集合している場合には、大きな面積が確保できることを活かし、一体的に整備し、地域の緑の核としての拠点性、シンボル性、修景性を高め、利用者の憩いの場となる広場を設けます。
- ・ 地域の防災拠点として指定されている施設においては、災害時の避難地として利用できるよう、延焼防止効果のある緑化を行い、住民が安心して生活できる環境を形成します。

■ 公共公益施設の緑化モデルプラン（小規模タイプ）（緑地面積率34%）



■ 公共公益施設の緑化モデルプラン（複合施設タイプ）（緑地面積率21%）



4 道路の緑化

*¹ ヒートアイランド現象
舗装面における陽の照り返しや冷暖房から出る熱など、都市の放出する廃熱が上空にドームをつくり年間昼夜を通じ、温度が下がらない現象をいう。

*² 食餌木
鳥類の餌となり得る。植物の総称。果実のほか、葉や花の若芽、蜜等が対象となる。

*³ ビオトープ
p. 11 参照

1) 緑化の意義

道路は、緑化による環境圧の緩和や歩車道の分離を図ることにより通行時の快適性と安全性を高めることができます。まちの景観を向上させるとともに、個性や地域らしさを創出したり、災害時の延焼防止効果や避難路としての防災機能を高めることにより、顔のあるまち、安全なまちを形成することができます。

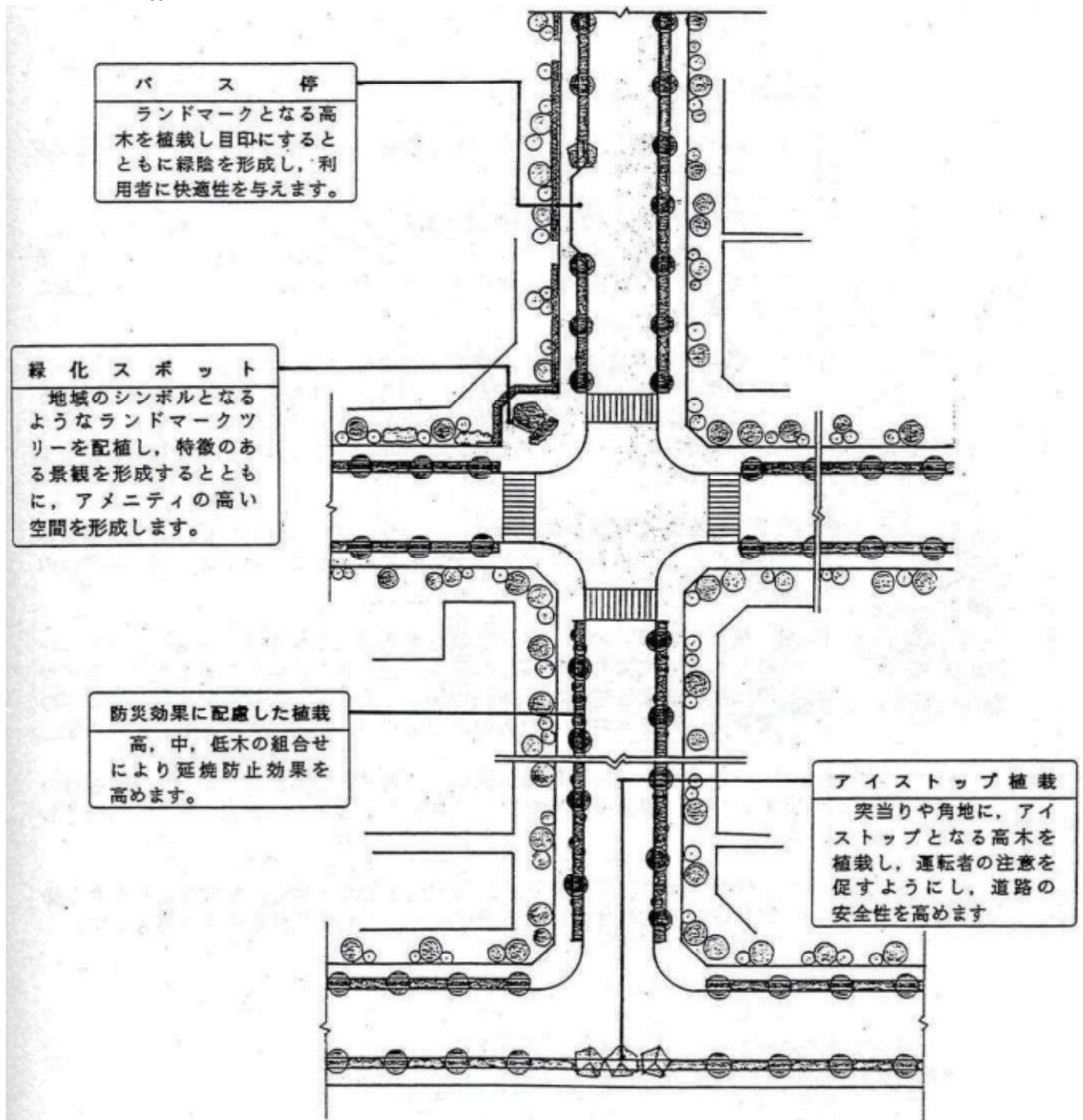
また、道路の緑化は、都市生態系の保全やヒートアイランド現象*¹等の都市気象を緩和する風の道形成するなど、都市公園等の緑の拠点をネットワークする重要な軸線を形成し、環境面、景観面、防災面等多角的な面で緑の持つ効力を相乗的に高め、道路空間に限らず、快適で安全でうるおいのあるまちを形成し、地域更には市域全体の生活環境を向上させることができます。

2) 基本的な考え方

- ・ 緑の軸として、限られた植栽面積においても多様性のある緑化を積極的に行い、他の緑の拠点をネットワークさせ相乗効果の上がるような緑化により、地域更には市域全体の生活環境の向上を図ります。
- ・ 排気ガス、騒音時の環境圧の低減や微気象の緩和を図る緑化を行い快適な道路空間、生活環境を形成します。
- ・ カーブ、三叉路等の見通しの悪い地点において、遠くより注意を促すアイストップとなる植栽や、視距の確保等、歩行者、車の運転者それぞれからみたシークエンス(景観の展開)に配慮した緑化を行い、道路空間の安全性を高めます。
- ・ 周辺の自然的環境や他の緑地と連携した都市生態系の保全に努め、野鳥や昆虫等の生物の通り道となる多層植栽や、食餌木*²の植栽、道路の下部に小動物の通り道となるトンネルの設置等を行い、市民が自然とふれあうことができるビオトープ*³ネットワークを形成します。
- ・ 市民の花、市民の木や特徴のある郷土樹種、既存の樹林等を積極的に取り入れるなど、個性や地域らしさのあるまち並みを形成します。
- ・ 道路敷だけではなく周辺と一体的にとらえ、緑化スポットや、市民の憩いの場となるポケットパークを積極的に創出したり、バス停等の周辺は、緑陰を構成する大木の配植などアメニティの高い空間を形成します。

- ・ 耐火性のある樹種を積極的に植栽するなど、災害時の延焼防止効果や避難路としての防災機能を高める緑化を行い、安全なまちを形成します。
- ・ 道路計画に伴う法面は積極的に緑化し、擁壁とする場合でもツル性植物等により壁面緑化を行うようにします。

■ 道路の緑化モデルプラン



5 住宅地の緑化

1) 緑化の意義

住宅地は人々の生活の場であり、身近な緑とふれあう場です。個性や多様性のある緑化によって、人と自然的環境が調和したアメニティの高い生活環境を形成することができます。また、地域らしさを感じさせる住宅地やまち並み景観を形成することができ、新しい住民の地域に対する愛着心やコミュニティを育むことができます。

更に、緑化は災害時における安全性の確保といった防災面や環境面、景観面といった多角的な面で居住環境を向上させるとともに、住宅地及びその周辺地域のイメージアップを図ることができます。

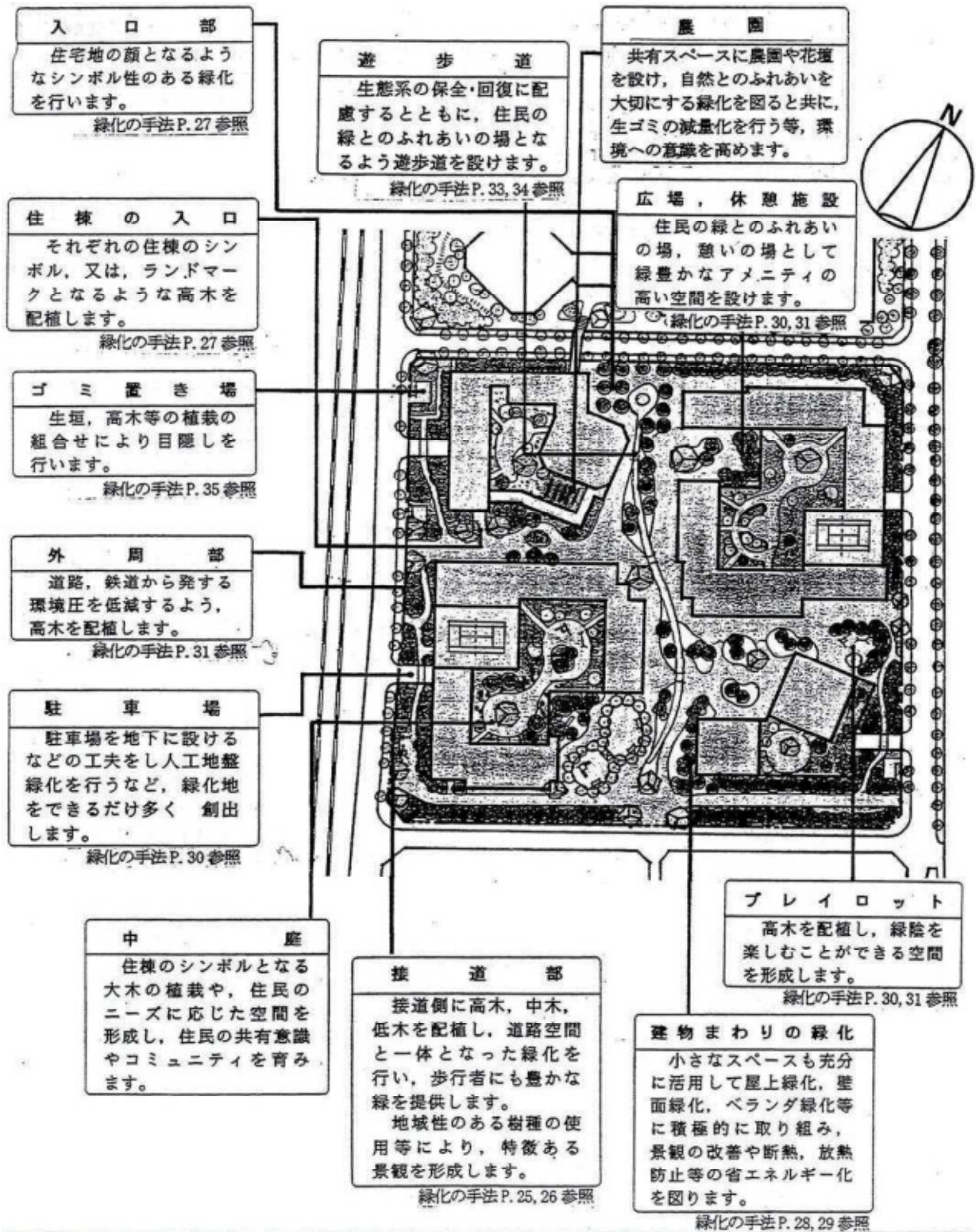
2) 基本的な考え方

- ・ 防塵、防風、ヒートアイランド現象等環境圧の低減を行い、居住環境の向上を図ります。
- ・ 既存の自然環境を積極的に保全、活用するとともに新たに創出し、すべての住民が季節感を感じたり、見る、触れる、聞く、嗅ぐ、食べるなど、身近な場で多様な自然をふれあうことができるような緑化を行います。
- ・ 個々の専用庭の確保ができない集合住宅においては、コモンスペースやプライベートガーデンの確保、あるいは共有スペースの農園化による生ゴミの減量化など、自然とのふれあいを大切にするとともに、想定される居住者のライフスタイル、ニーズに応じた緑化空間の展開を図るようにします。
- ・ 美観を高める修景的な緑化、ヒーリング*¹(癒し)効果のある緑化等により、リラクゼーションややすらぎを得ることができるアメニティの高い空間を形成します。
- ・ コミュニティのシンボルとなる大木の配植や花木、花壇(ガーデニング)の導入により、地域らしさや個性のある景観を形成したり、共同で住宅内の緑を育てるなど、緑を通じて住民の共有意識を高め、土地への愛着心やコミュニティを育む緑化を行い、住民の定住意識を高めます。
- ・ プレイロット*²は、幼児が安心して遊べる空間となるような緑化を行います。
- ・ 敷地内の緑化に止まらず、周辺地域との一体性、連続性を持たせた緑化を行い、地域住民にうるおいを与え、地域の景観を向上させます。

*¹ヒーリング
p. 9参照

*²プレイロット
共同住宅の敷地の中などに設置され、幼児を対象として遊戯施設を備えた自主管理による子供の遊び場で、公開性の強いものです。

■ 住宅地の緑化モデルプラン(緑地面積率37%)



6 事業所の緑化

1) 緑化の意義

事業所は、人々の労働の場であり、個性や多様性のある緑化によってうまいやすらぎのある憩いの場を形成するとともに、周辺環境からの環境圧を軽減し、良好な労働環境を形成することができます。

事業所の緑化は労働環境の向上だけにとどまらず、地域の環境形成や景観向上等においても非常に重要な役割を担っています。地域に開かれた緑化を行うことは、市民に身近な緑とのふれあいの場を提供するとともに、環境面、景観面、防災面といった多角的な面で地域の良好な生活環境の形成に資することができます。得に大規模な開発の場合は、地域の緑の核を形成することができます。更に、事業所及びその周辺地域のイメージアップを図ることができます。

2) 基本的な考え方

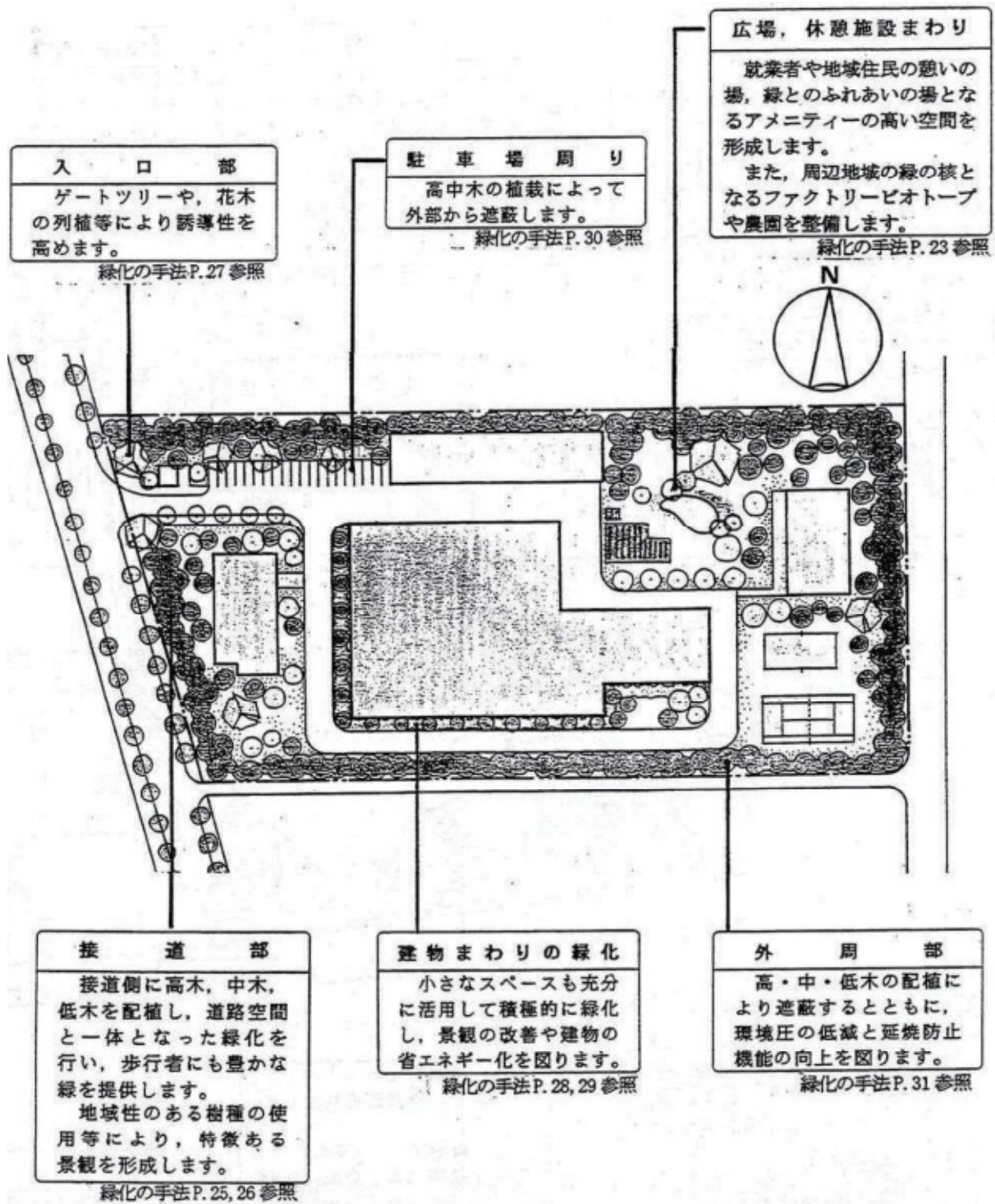
- ・ 事業所は、周囲の環境に配慮し、環境圧を低減（防風、大気浄化等）する緑化を行うとともに、美観を高める修景的な緑化、事業所内の農園の整備、ヒーリング*¹（癒し）効果のある緑化等により、リラクゼーションややすらぎを得ることができるアメニティの高い労働環境を形成します。
- ・ ヒートアイランド現象*²等の都市気象の緩和、省エネルギー効果など緑の持つ多様な効果を考慮し、屋上緑化や壁面緑化など積極的な緑の創出に取り組みます。
- ・ 開放的なエントランス広場・遊歩道等の設置や公開空地を設けるなど、就業者だけでなく地域住民にも親しめ、憩いの場となるような緑化を行います。
- ・ 複数の事業所が立地する場合は、敷地内のオープンスペースを一体的に整備し、敷地内にまとまりのある緑を創出します。
- ・ 既存の自然環境を積極的に保全、活用、あるいは新たに創出して、野鳥や昆虫などの生息空間とし、自然と人とが共生するファクトリービオトープ*³づくりを行い、地域の緑の核を形成します。
- ・ 防災的役割に配慮し、大規模な場合は災害時の避難地として利用できるようなオープンスペースを確保するとともに、延焼防止効果のある緑化を行い安全な労働環境、生活環境を形成します。
- ・ 敷地内の緑化にとどまらず、周辺地域との一体性、連続性を持たせた緑化を行い、地域住民にうまいやすらぎを与え、地域の景観の向上を図ります。

*¹ヒーリング
p. 9 参照

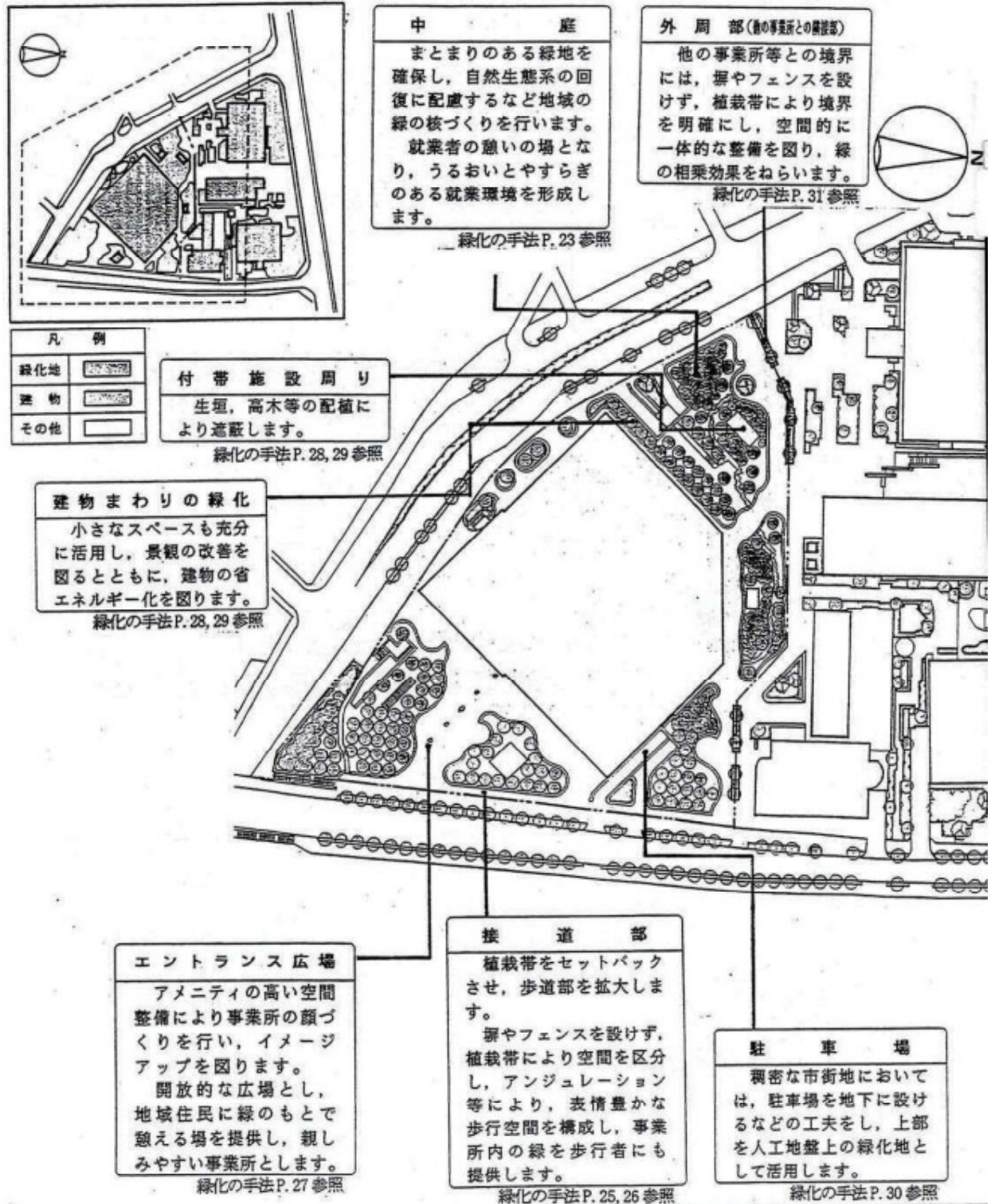
*²ヒートアイランド現象
p. 16 参照

*³ビオトープ
p. 11 参照

■ 事業所の緑化モデルプラン（倉庫・工場タイプ）（緑地面積率54%）



■ 事業所の緑化モデルプラン(複合オフィスビルタイプ)(緑地面積率27%)



1 テーマ別にみた 緑化の手法

*¹ビオトープ
p. 11 参照

1) 自然とのふれあいの場を形成する緑化

- ・ 既存の樹林地、水辺、小動物生息地の自然的環境を活用したり、とんぼ池等の設置によりビオトープ*¹を形成するなど生態系の保全・回復育成に配慮した緑化を行ってください。

- ・ 公園、学校、公共施設等、地域の緑の核となる施設において敷地に余裕がある場合や緑の少ない地域に立地している場合は、自然性を感じることができるまとまりのある緑として樹林を設けることが望ましいです。

その際、“四季の森”“雑木林”“生物誘致林”“果樹林”等、樹林づくりのテーマを明確にし、効果的な植栽を行ってください。



池 アーベインビオ



水鳥の訪れる池



富士通

*²食餌木
p. 16 参照

- ・ 多様な樹種による林や食餌木*²の植栽、生物の生息環境となっている周辺の農地や用水、樹林と連携した緑地をつくり、野鳥や昆虫等、多様な生物が生息する環境づくりを行ってください。

- ・ 花木や実のなる木等を配植し、四季の変わりを感じることができる緑化を行ってください。

- ・ 植物や、そこに生息する動物について知識を得ることができる説明板や花ごよみなどを設置してください。



樹林の説明版 東京都 多摩川台公園



都市の緑と屋上ビオトープの
説明版 アーベインビオ

2) 地域らしさを演出する緑化

- ・ 地域らしさを有する既存の自然環境(特徴のある樹木、大木、優れた林層、昆虫、小動物の生息環境)を活用してください。
- ・ 市街地が形成される以前の野山の草花や樹木、有用木などの地域の自然や文化を活かした川崎ゆかりの森を形成してください。



マツ林を残した住宅地 中野島

- ・ 施設や地域のシンボル、ランドマークとなる大木を植栽してください。
- ・ 街区ごとに、特色ある樹木を配植したり、植栽形態等を統一するなど特徴のある個性的なまち並みを形成する緑化を行ってください。



ランドマーク植栽
パークシティ新川崎

2 部位別に見た
緑化の手法

3) コミュニティの形成に資する緑化

- ・ 花見、記念植樹、果樹採取、植物採取、フリーマーケット等の集い、イベントが行えるような緑化、生活に活かせるような有用木の植栽を行ってください。
- ・ なるべく住民が参加できるような維持管理を行える緑化を行ってください。



フリーマーケットを行うことができる広場を設けた公園 中野島

1) 接道部の緑化

- ・ 接道部の緑化は、より多くの人の目にふれ、まち並みを形成する重要な要素として、多様性のある緑化を行ってください。



植栽帯をセットバックし、敷地内の緑を歩行者に提供している
パークシティ新川崎



道路空間と一体的にとらえた緑化
ソリッドスクエア

- ・ 緑の核となる施設においてはとくに、特色のある樹種の選定や配植により、名所づくり、自然景観づくりを行ってください。
- ・ 飛び出し事故等の防止や境界を明示する上で、空間を仕切ることは必要ですが、日照・風通し、環境圧の低減、歩行者への圧迫感、災害時における倒壊の危険性等を考慮し、接道部にはできるだけ塀やフェンスでなく生垣を設け、緑量感、緑視率を高める緑化を行ってください。
- ・ 生垣の下部に低木等を植えることによって枯れ上がりを補うとともに、植栽に変化をつけることができます。

- ・ やむを得ず塀やフェンスを設ける際には、以下の点に配慮し、できるだけ緑量感、緑視率と高める緑化を行ってください。

- ① 敷地内にゆとりがある場合は、道路沿いの塀やフェンスを後退させることにより道路空間と一体性をもたせることができ、歩行者にも豊かな緑を提供することができます。道路側の植栽を低くし、敷地内側の植栽を高くすることにより奥行き感や広がりを出してください。(図1参照)
- ② 敷地内の緑が外側から見えるよう、透過性のあるフェンスを用いてください。
- ③ 塀やフェンスを低くし、目立たなくすることで内側の植栽を生垣的に見せてください。(図2参照)
- ④ 植物の根の健全な育成を妨げないように、植物と塀、フェンスの位置に配慮してください。

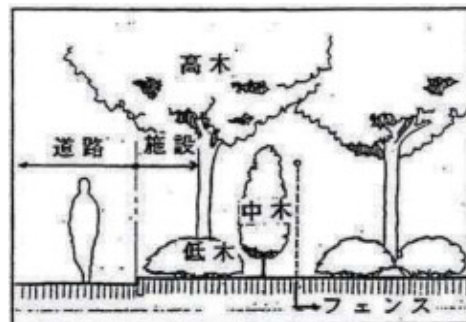


図1

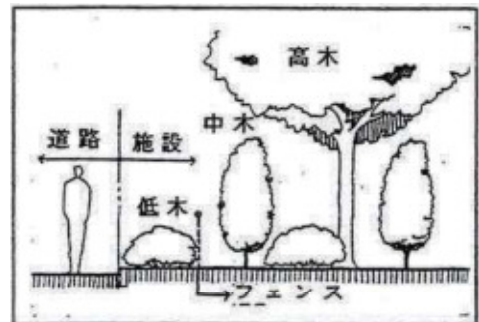


図2

- ・ 角地、突き当りは、歩行者や、ドライバーの交通の安全性を十分に考慮するとともに、まち並みの景観ポイントとなるよう、低木の配置や、アイストップツリーとなる植栽を行ってください。

(図3参照)

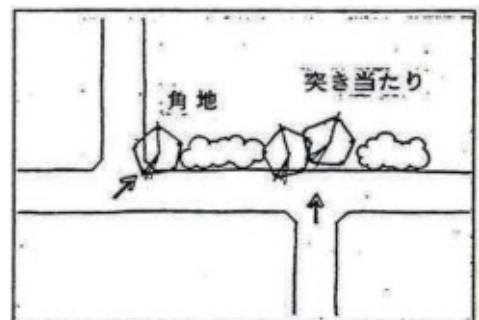


図3

*アルコーブ

一般に部屋の壁の一部分を引っ込ませた部分のこと。部屋のみではなく廊下の一部分を引っ込ませたり、外壁の一部分を引っ込ませた場合に用いられる空間の名称。アルコーブをつくることによって単純な空間に変化をつけ、また余裕のある空間をしっかりとつくれる。

- ・ アルコーブ*等の設置やベンチとして機能するツリーサークルの導入等により、歩行者が緑陰で気軽に休むことができる場を積極的に創出してください。
- ・ 植栽地を蛇行させたり、アンジュレーションをつけるなどし、緑量感のある修景効果の高い緑化を行ってください。

2) 入口部の緑化

- ・ 緑の核となる施設については、市民の花や市民の木、区の花、区の木を取り入れたり、ゲートツリーやランドマークツリー、花壇、花木等の配植により個性ある景観を演出し、地域にうるおいを与え、市民が親しみやすい緑化を行ってください。



ランドマークツリー 宿河原

- ・ アーチ状の植栽やアプローチに並木を設けるなど、誘導性のある緑化を行ってください。



アプローチの並木 高津図書館



アーチ状の植栽 多摩センター

- ・ フェンスや門扉をできるだけ設けず、全体がエントランス広場として明るく開放的な空間となるような緑化を行ってください。



パークシティ新川崎

3) 建築物周りの緑化

- ・ 建物の利用目的、部屋の方向等を踏まえ、緑化の目的を明確にした上で、効果的な植栽を行ってください。
- ・ 敷地に余裕がない場合においても屋上・壁面・ベランダ緑化等により積極的に緑化を行ってください。

■ 建築緑化の目的と手法

緑化の目的	緑化の手法
景観の改善	建築物と緑とのランドスケープ効果が期待できるよう、大景木*の植栽等、多様な緑化を行ってください。
環境改善	防風、遮光、大気浄化等、目的にあった機能を備えた永続性のある植栽を行うとともに、ボリュームのある植栽を行ってください。
省エネルギー化	建物の日照条件を十分に把握した上で、高木の植栽、壁面の緑化、屋上緑化等、断熱、放熱防止効果のある適切な緑化を行ってください。
防災	防火、スクリーン効果の目的にあった樹種及び高さを選択してください。
目隠し	施設の遮蔽、プライバシーの保護等の目的により、適切な密度、高さ、方法を選択してください。
自然生態系の回復	鳥の飛来、昆虫の生息等を考え、食餌木の導入や水面の設置等を行ってください。
鑑賞	庭園的利用や室内からの鑑賞を目的とした修景施設やベンチ等の休憩施設を配し、季節の移り変わり等を楽しむことができるような多様性のある緑化を行ってください。
治療	自然的要素の多いアメニティの高い空間を形成することにより、ストレスの緩和やヒーリング効果を引き出すようにしてください。
趣味	花の栽培などの趣味も楽しめるような花壇等の設置を行ってください。

*大景木
景観構成上重要な、形状寸法の大きな樹木



道路等からの環境圧の軽減と修景効果のある緑化

パークシティ新川崎



プライバシー確保や省エネルギー効果をねらった緑化

パークシティ新川崎



延焼防止効果のある生垣緑化

幸区

- 変電設備や貯蔵庫等の付帯設備の周囲は、中木、低木を植栽し、遮蔽してください。

- 自転車置き場や倉庫等も無機的な空間とならないよう導線を確保しつつ適度な緑化を行ってください。



中野島

4) 駐車場の緑化

- ・ 駐車場は、区域を明示することが必要ですが、外部からの景観に配慮し、フェンスや塀を設けず生け垣や低木、高木等の配植によって無機質になりがちな空間を潤いのあるものにしてください。

- ・ 立体駐車場を設置する場合は、高木、中木やツル植物（トレリス等）を用い、緑化するよう努めてください。



屋上緑化によるうるおいのある植栽 多摩センター

- ・ 快適な施設環境を確保するため、排気ガス等の環境圧の低減を図るよう耐煙性のある樹木を植栽してください。
- ・ 単独樹を用いるなど高木を適切に配植し、修景効果を高めてください。
- ・ 敷地の形や導線を考慮して、立体駐車場方式などを取り入れ、植栽スペースを広げてください。
- ・ 夏季の照り返し防止効果、耐久性、雨水の地下浸透など、自然的環境を十分考慮し、積極的に導入してください。



芝による緑化 桜川公園

- ・ 出入口は、安全性の確保のため、十分な視野を確保してください。

5) 広場、プレイロット、休憩施設周りの緑化

- ・ 施設の目的や特色を踏まえた上で、適合性のある樹種を植栽してください。

*1プレイロット
p. 18 参照

・ 公園やプレイロット*1等幼児の遊び場となる場所の周りは、保護者が幼児の行動を見渡せるよう配慮した緑化を行ってください。

・ 高木等を配植し、人々が緑陰などを楽しめる緑化を行ってください。

*2ヒーリング
p. 9 参照

・ 草花や芳香木等によりヒーリング*2（癒し）効果のある植栽を行ってください。

・ 彫刻や、噴水、池、ベンチ等の修景・休養施設を配置する場合は、建築物の規模、デザインと調和した植栽を行ってください。

・ 芝生地は、適度に緑陰のある明るく開放的な空間を構成することにより、人々に憩いの場を提供してください。樹木の枝下は2.5m以上とし、樹下の活動に支障のないようにしてください。

6) 外周部の緑化

・ 侵食や風土の防止など景観面を考慮して、傾斜が30度以下の法面は、積極的に緑化する必要があります。

（法面の緑化については<施工編>P.108参照）



法面の緑化 パークシティ新川崎



擁壁の緑化 新百合ヶ丘

・ プライバシー保護や目隠しが必要な場合は、高木、中木の配植により遮蔽を行ってください。

・ 隣接地の状況に応じて、環境圧を低減するなど、防災機能を考慮し、防風・遮光・大気浄化および延焼防止効果などの機能を備えた緑化を行ってください。

（耐火性のある樹種については<計画・設計編>P.42参照）

7) 歩道部の緑化

- ・ 歩車道分離や飛び出し防止などに配慮して植栽帯を設けることにより、歩行者の安全確保、環境圧の低減、歩行者への圧迫感の緩和を行うとともに緑量感、緑視率を高めてください。
- ・ 高木、低木、草花等を組み合わせた規則性と適度なリズム感など、連続性のある植栽形態により、まち並みの景観を整えるとともに、街区ごとに特徴ある樹種の選定、植栽形態を統一するなどの工夫をし、個性あるまち並みを創出してください。



新百合ヶ丘

- ・ 隣接地と一体的にとらえ、樹種、植栽の形態を統一するなどの工夫により、緑豊かな歩行空間を形成してください。



パークシティ新川崎

- ・ 四季の変化のある樹木、花木の配植や花壇の導入により、季節感のある歩行空間を形成してください。



多摩ニュータウン

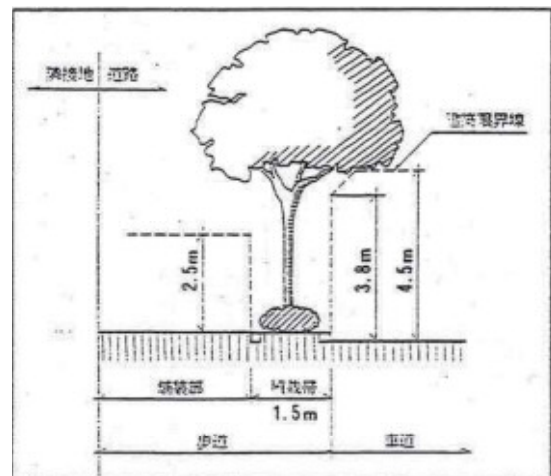
- ・ 高木の配植により緑陰を構成し、快適な歩行空間を形成してください。

- ・ 樹木保護柵を使用し、歩行部を広げるとともに、より大きな樹木の導入、樹木の健全な育成を図ってください。



樹木保護柵を使った歩道 川崎

- ・ 車道及び歩道の建築限界に留意し、交通の障害、視界の妨げにならないよう配慮してください。
(右図参照)



- ・ 沿道の施設の出入口、横断歩道の所は、歩行者・車両の導線と視界に配慮して植栽地を設けてください。

8) 歩行者専用道路の緑化

- ・ 歩行者・自転車専用道路は、道路占用物などの制限要素が少ないので、アーチを設けるなど、より多様な植栽形態を取り入れるようにしてください。
- ・ 住民の生活道路、散策路等として、高木、中木、低木、草花をさまざまに組み合わせ、アンジュレーションや蛇行により緑量感、修景効果の高い緑化を行い、緑を楽しむ空間としての性格を強く出してください。



山口台

- ・ 植栽地をあまり確保できない場合においても、ツル植物などを用いたり、隣接地の緑の活用などにより、緑量感を高めてください。
- ・ ベンチ等の休養施設や、噴水、流れ等の導入を積極的に図り、住民が緑のもとで憩える場を形成してください。
- ・ 公園や公共公益施設などをネットワークする施設として計画するよう努めてください。特に野鳥や昆虫の通り道となるよう工夫してください。
- ・ 災害時の避難路として機能するよう、隣接地の塀やフェンスの倒壊を防ぐため高木や生け垣を取り入れ、延焼防止効果のある緑化を行ってください。

9) コミュニティ道路の緑化

- ・ 車道を狭くしたり蛇行させるなどしてまとまりのある植栽地を確保し車の速度を意図的に落とさせ、歩行者の安全を確保してください。



山口台

- ・ ベンチ、彫刻等のファニチュアと併用して四季の移り変わりを楽しむことができる花木や芳香木等を配植し、自然のもとで人々が休息できるアメニティの高い空間を創出してください。
- ・ また、歩行者の休息の場としてポケットパーク等を積極的に設けるようにしてください。



ラ チッタデッラ

10) 臨海部の緑化

- ・ 運河沿いに重厚な緑化を図り、運河の「水と緑によるプロムナード」を形成するようにしてください。
- ・ 立地する施設の形態、色彩等を総合的に考慮し、緑を含め全体として統一感のある景観づくりを心がけてください。

1 1) 中央分離帯の緑化

- ・ 道路景観にアクセントをつけることにより、運転者に適度な緊張感を与え、安全性、快適性を高めるようにしてください。
- ・ 中央分離帯は遮光や視線誘導効果に配慮するとともに見通しや建築限界を確保した緑化を行ってください。



多摩センター

1 2) 交通島、交差点の緑化

- ・ シンボルとなるような高木の配植や花壇の造成、彫刻の設置を行うなど、まち角の景観スポットを形成し、運転者、歩行者に現地点を示すランドマークとなる特徴のある道路空間を形成してください。
- ・ 見通しの確保が必要なところは、植栽は高さ0.5m以内に抑え、低木や草花などを中心とした緑化を行ってください。高木を取り入れる場合には、枝下空間を確保し、見通しを妨げないようにしてください。

1 3) その他

- ・ ゴミ置き場周りなどは、生垣やツル植物等による緑化により空間を区分し、動物によるゴミの散乱を防ぐと共に、視覚的な遮蔽や防臭を行うようにしてください。



生垣で目隠しを行っている
パークシティ新川崎